

# 心臓病センター榊原病院における電化厨房システムの導入事例

金子 健治 (かねこ けんじ) 日本調理機株式会社 プロジェクト設計部 主任

家庭用でIHクッキングヒーターの普及が進むなか、業務用でも電化厨房に注目が集まってきている。病院、福祉施設、給食センター、飲食店…厨房環境の改善やコントロールの容易さなど、より良い厨房を目指した取り組みが進んでいる。これら電化厨房の事例をシリーズで紹介していく。今回は「病院」の事例を取り上げる。

## 1. はじめに

心臓病センター榊原病院は1932年の開院当初より、病気に苦しむ方々と手を携えて治療にあたっていきたいという信念から「病客さま」という言葉を用いて、安全で質の高い医療を提供している。

開設80周年を迎えるにあたり、21世紀の医療サービスを提供する「病客さまのため」の新しい病院を開院した。

建設に際しては、

- ① 病客さまの安心で快適な療養環境の創造
- ② 災害時の復旧の早さによる事業継続性の確保
- ③ 光熱費やメンテナンスコストの軽減による経営効率の向上
- ④ 電化厨房による安全でおいしい食事サービスの提供

の四項目を病院設計における電化システムの貢献ポイントとしている。

心臓病センター榊原病院では、先進の耐震構造、心臓カテーテルを再起動できる非常用電源、基幹部分は保守点検時も停電させないための二重配線化、空調・給湯用にヒートポンプシステム、医療器具の洗浄及び乾燥工程用に電熱ヒーターによって水を加熱し蒸気を発生させる電気式蒸気発生装置等の先端の技術が採用されている。

本稿では病客さまに食事を提供するための厨房について、設計コンセプト、設計計画時に検討した事項、電化厨房システム、電化厨房機器について紹介する。



写真1 施設全景

## 2. 施設概要

- ◆施設名称 : 社会医療法人社団十全会  
心臓病センター榊原病院
- ◆所在地 : 岡山県岡山市北区中井町2丁目5-1
- ◆病床数 : 297床  
【ICU: 30床、HCU: 20床、  
透析: 20床】
- ◆敷地面積 : 43,272.59 m<sup>2</sup>
- ◆延床面積 : 46,585.05 m<sup>2</sup>
- ◆建物構造 : 鉄筋コンクリート造 7階建て
- ◆竣工年月日 : 平成24年8月20日
- ◆開院日 : 平成24年9月18日
- ◆設計 : 株式会社アーキスコープ、  
株式会社竹中工務店設計共同企業体
- ◆建設工事 : 株式会社竹中工務店
- ◆厨房施工 : 日本調理機株式会社